

4 - 8 伊豆半島東方海域の海底地形・地質構造

Submarine Topography and Geological Structure off the East of Izu Peninsula

海上保安庁水路部

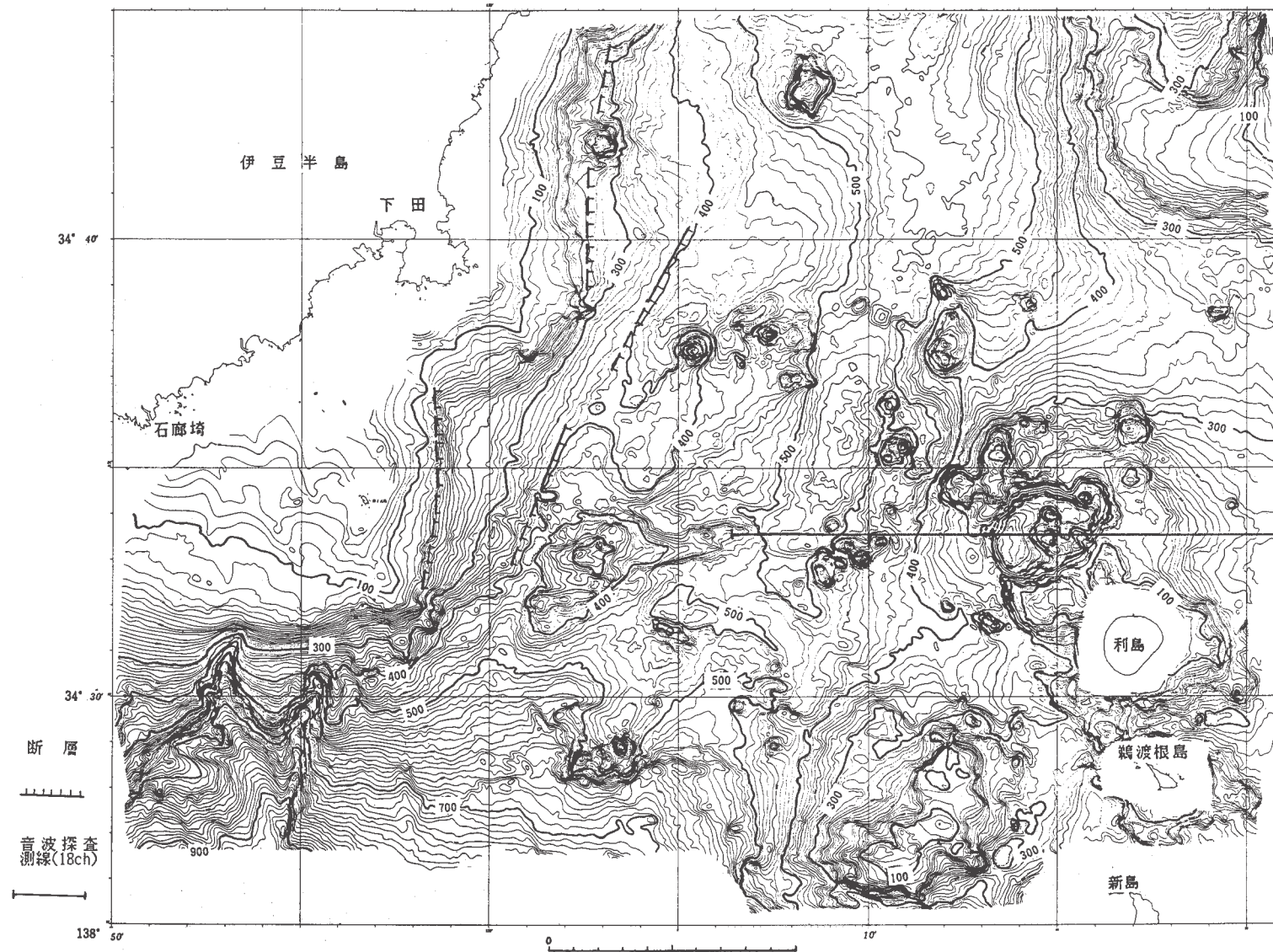
Hydrographic Department, Maritime Safety Agency

海上保安庁では昭和 62 年 4 月測量船「天洋」により伊豆半島東方海域の海底地形・地質構造測量を実施した。測量作業は主測線を東西方向に 0.5 海里間隔で設定し、ナローマルチビーム音響測深機（ハイドロチャート）による海底地形調査，地層探査機（スパーカー）による地質構造調査，ドレッジによる岩石採取等を行なった。また，9 月には測量船「拓洋」により 18ch マルチチャンネル音波探査調査を行った。今回はこれらにより明らかになった伊豆半島東方海域の海底地形地質構造について報告する。

第 1 図に今回の調査によって明らかとなった海底地形と断層をあわせて示す。この海域は伊豆下田沖にあたり利島，鵜渡根島，新島の一部を含んでいる。海底には海底火山体と推定される小海丘が多数分布しており海底地形は複雑である。利島の北西方 4 km には径約 5 km，比高 400 m の海底カルデラも新たに発見された。この海底カルデラには比高 25 m の中央火口丘も認められた。

この海域は全体的に堆積層が薄く，音響的基盤が直接海底に露出している所が多い。下田の沖合に北東～南西方向の断層崖が少なくとも 2 ヲ所認められた。

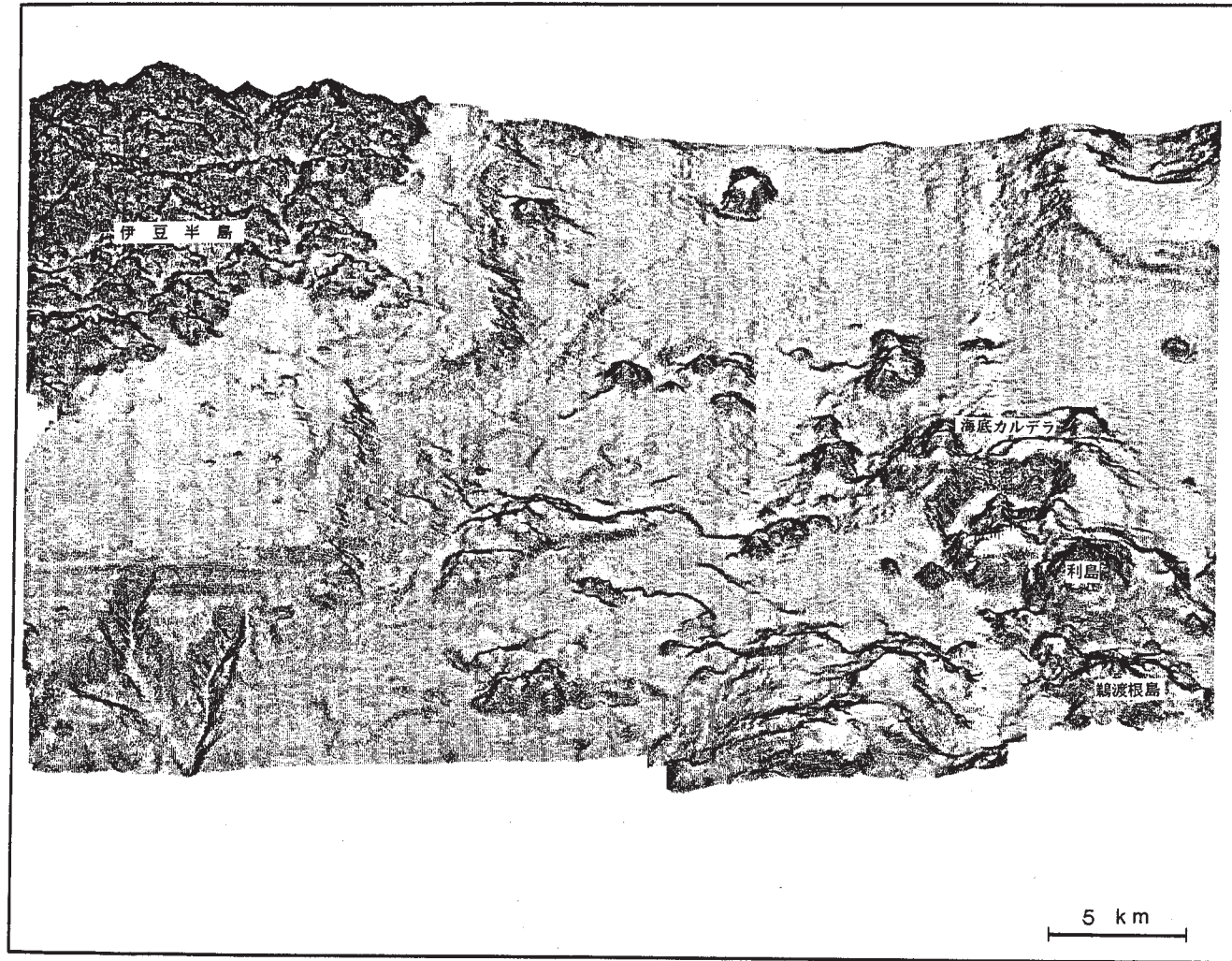
第 2 図にはこの海域の鳥瞰図を，第 3 図にはマルチチャンネル音波探査の記録を示す。



第1図 伊豆半島東方海底地形図 等深線間隔：10 m

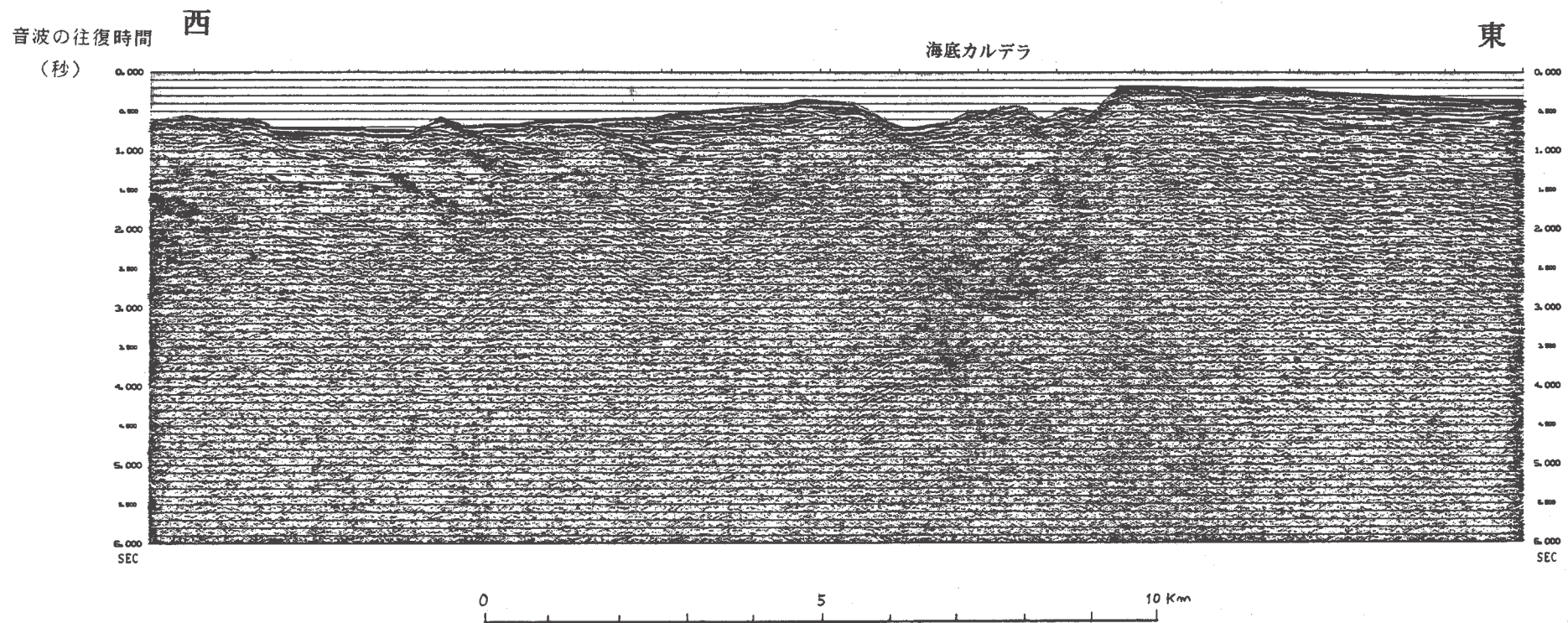
Fig. 1 Bathymetric chart off the east of Izu Peninsula.

第2図 伊豆半島東方海底地形鳥瞰図



第2図 伊豆半島東方海底地形鳥瞰図

Fig. 2 A bird's-eye view of bathymetry off the east of Izu Peninsula.



第3図 18ch マルチチャンネル音波探査記録 測線位置は第1図に示す。

Fig. 3 Multichannel seismic reflection profile. Location is shown in Fig. 1.